

会 議 記 録 （ 概 要 ）

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	香川縣市町長四国新幹線整備促進期成会（仮称）設立総会
開催日時	令和6年2月22日（木）16時～16時30分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議題	(1) 規約（案）について (2) 役員互選
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席会員	高松市長、丸亀市長、坂出市長、善通寺市長、観音寺市長、さぬき市長、東かがわ市長、三豊市長、土庄町長、小豆島町長（代理：副町長）、三木町長、直島町長、宇多津町長、綾川町長、琴平町長、多度津町長、まんのう町長
傍聴者	傍聴者2人、報道7人
担当課及び連絡先	交通政策課 087-839-2138

審議経過及び審議結果
<p style="text-align: center;">開会 (事務局)</p> <p>本日は、オンラインと会場を併用し開催する。事務局が決定していないため、開催市である高松市が進行を務める。</p> <p>1 議事</p> <p>次の議事について協議し、下記の結果となった。</p> <p>(1) 規約（案）について</p> <p style="padding-left: 2em;">・・・事務局から説明</p> <p>会員の同意を得て、当規約は本日付で施行された。</p> <p>会の名称は、「香川縣市町長四国新幹線整備促進期成会」に決定した。</p> <p>(2) 役員互選</p> <p>香川縣市町長四国新幹線整備促進期成会規約第6条の規定により、会長及び副会長を互選し、次のとおり決定した。</p> <p>会 長 ： 高松市 大西市長</p> <p>副会長 ： 三豊市 山下市長 、 宇多津町 谷川町長</p>

同規約第8条の規定により、当会の事務局を高松市交通政策課に置くことを確認した。

(会 長)

四国新幹線や、今後の期成会の活動について、意見があればお願いしたい。

(谷川町長)

新幹線は、災害に強く、持続可能な人流の促進が図られ、整備により訪問客やインバウンド効果が期待できることから、地域にとって重要なインフラであるものと考えている。四国新幹線の実現に向けては、整備計画への格上げに向けた法定調査を、一刻も早く実施することを要望していただきたい。地域のより一層の機運の醸成を図るとともに、一丸となって要望活動や、具体的な議論が深められることを期待している。

(佐伯市長)

まず、基本計画から整備計画への格上げをすることが一番重要ではないか。瀬戸大橋は新幹線が通る仕組みとなっているが、未だに通っていない。2030年度末には、北海道新幹線が札幌まで、今年の3月16日には、北陸新幹線が敦賀、その後、京都、新大阪まで延伸する計画であるのに対し、四国新幹線は未だ、基本計画のままである。整備計画への格上げをしっかりと示す必要がある。

新幹線より社会保障や教育の拡充をと、いう世論もあるが、そもそも、インフラ整備の予算と社会保障や教育の予算は別である。北海道新幹線や北陸新幹線の延伸のためのインフラ整備に使われている我々の税金を、四国新幹線の整備に使うものであることを、地域住民にわかりやすく説明し、機運醸成を図っていきたいと考えている。

また、本期成会を通じて、国土交通省に適正な予算執行を行っていただくよう、熱意をもって働きかけていきたい。

(会 長)

昨年11月、国土交通省鉄道局に赴き、四国新幹線の早期実現に向け、来年度予算に必要な措置を講じるよう、要望を行ってきた。その際、四国新幹線の実現には、地元が主体性を発揮しながら、地域住民に説明をして、機運の醸成を図ることが、重要であるとの認識を新たにした。本期成会においては、四国新幹線の導入の意義や役割、また、整備事業費や並行在来線の在り方などの具体的な議論を深め、さらなる機運の醸成につながるよう、必要な取組や検討を進めていきたい。

(事務局より周知事項)

会場出席者による記念撮影及び、記者会見について説明。

閉会

以 上